

長期ビジョンと 2020年のありたい姿の関係

SMMグループは価値創造の方向性を示すものとして、
長期ビジョンおよび「2020年のありたい姿」を掲げています。

この2つの目標を達成するための活動はSMMグループがめざす、
「持続的な成長と企業価値の最大化」を図るうえで不可分であり、一体のものとして進めています。

持続的な成長と 企業価値の最大化

長期ビジョン

長期ビジョンは継続的な成長戦略を
実行するための目標であり、素材や製
品の長期的な安定供給をめざします。
また、2021年度がターゲットである

長期ビジョンを達成するために、中期の
戦略目標として3年ごとに中期経営計画
(中期)を定めています。

長期ビジョン

世界の非鉄リーダー & 日本のエクセレントカンパニー

長期ビジョンのターゲット

世界の非鉄リーダー

銅

権益シェア分年間生産量

30万トン

銅資源は、すでに稼働してい
る海外銅鉱山の拡張とシエラ
ゴルダプロジェクトの商業生
産開始、さらにはモレンシー
銅鉱山の権益追加取得により、
権益シェア分年間生産量30
万トンが視野に入ってきました。
銅製錬においては、安定
操業の維持、二次原料の増処
理、固定費の削減等により、
収益力の向上を図ります。

ニッケル

年間生産能力

15万トン体制

ニッケルは、タガニートプロ
ジェクトと電気ニッケル生産
能力の年産6万5千トンへの
増産起業が2013年に完工し、
ニッケル年産10万トン体制
が完成いたしました。さらに
長期ビジョンとして、新規鉱
源確保とニッケル生産能力増
強により、これを年産15万
トンに引き上げる構想を描い
ています。

金

権益シェア分年間生産量

30トン

金は、コテ金開発プロジェ
クト（カナダ）への参入によ
り、権益シェア分年間生産量
約2.7トンの金資源を増加さ
せることができました。引き
続き操業鉱山の周辺探鉱を進
めるとともに、ジョイントベ
ンチャーへの参入検討に加え、
M&Aも視野に入れて権益獲
得に取り組んでいきます。

新規材料

経常利益

50億円

材料事業部門と研究開発部門
の連携により、新規材料製品
の開発を加速させ、利益貢献
をめざしていきます。

日本のエクセレントカンパニー

売上高

1兆円

当期純利益

1,000億円

2020年のありたい姿

— CSR重点6分野における —

「2020年のありたい姿」は、SMM
グループが地球および社会と共存する
ための目標であり、持続可能な発展を
めざします。SMMグループの事業は、
鉱山開発などの大規模な開発を伴うこ
とから、その周辺へ与えるインパクト
が大きくかつその及ぼす範囲が経済、
環境、人権、地域コミュニティなど多
岐にわたります。

このことから、SMMグループでは、
法的な操業許可に加えて、地域社会と
の信頼関係無くして得られない社会的
操業許可いわゆる Social License to
Operate を得ることが事業を行なう
上で不可欠であると考えています。

SMMグループでは、事業のグロー
バル化の進展やその他の社会情勢の変
化を踏まえ、2015年にCSR重点6分

野における「2020年のありたい姿」を
見直しました。この見直しに合わせ多
くのサステナビリティ課題の中から社
会的操業許可や将来に向けた収益の機
会または競争力の源泉への影響などを
評価の主な視点としSMMグループが
取り組むべき重要課題（Material Issue）を
特定しました（特定プロセスについては、P63
～65を参照ください）。

資源の有効活用

独自の技術で 資源を生み出す企業

【KPI】
資源（低品位鉱、難処理鉱等）の
効率的回収技術の開発と応用
副産物の新規用途開発と有効利用
リサイクルの推進

環境保全

固有技術を活用し 環境負荷を低減させ、 地球環境保全に 貢献する企業

【KPI】
生物多様性保全の推進
重大環境事故ゼロの維持

地域貢献・社会貢献

事業および地域に根差した 社会貢献活動を通じて、地域の 発展に貢献し信頼を得る企業

【KPI】
1. 地域コミュニティとのコミュニケーション
を通じて、操業地域における社会課題を把握し、
その解決を支援するプログラムを実施する
2. 事業立地国の教育環境整備、学術活動、文化・
伝統・芸術の維持と発展を支援する
3. 大規模災害の復旧・復興を支援する
1から3までの活動のための財務的支援を行う

人権・人材の尊重

多様な人材がそれぞれの能力を 十分に発揮してそれぞれの分野で 生き活きと活躍している企業

関係するステークホルダーと共に
積極的に人権が尊重される社会を
目指す企業

【KPI】
人材が生き活きと活躍できる企業
多様性の尊重
人材育成
重大な人権侵害の防止

安全・衛生の確保

安全を最優先し、 快適な職場環境を 確保している企業

【KPI】
安全の確保
快適な職場環境の確保

ステークホルダーとの コミュニケーション

地球規模ですべての ステークホルダーと 透明性のある コミュニケーションを図り、 相互理解を深める企業

【KPI】
従業員との相互理解促進
地域住民、市民団体との相互理解促進
株主・投資家との相互理解促進
その他のステークホルダーとの相互理解促進

CSR方針

1.

資源の有効利用およびリ
サイクルを推進するととも
に、技術革新やエネルギー
効率の継続的な改善など
により、地球温暖化対策
に取り組めます

2.

国内外において地域に根
ざした活動を積極的に推
進し、地域社会との共存
を図ります

3.

健全な事業活動を継続す
るために、人権を尊重す
るとともに、多様な人材
が活躍する企業を目指
します

4.

安全を最優先し、快適な
職場環境の確保と労働災
害ゼロを達成します

5.

多様なステークホルダー
とのコミュニケーション
を強化し、健全な関係を
構築します